

2020年8月8日

横浜市アマチュア無線非常通信協力会旭区支部

ソーラーバッテリーの使用について

2019年、旭区内の各防災拠点にソーラーパネルとバッテリーが供給されました。

これは、近年の災害発生時にスマホなどの電池が切れてしまって連絡が取れなくなるという事態が報告されている状況に鑑み、各家庭で比較的安価に購入できるソーラーバッテリーがあると便利であるという事を区民にPRするために備えられたものです。これをPRするにあたっては、YWKのメンバーに期待が寄せられています。

PRをするにあたっては、以下の点を留意してお願いします。前記の通り、このバッテリー選定にあたってはアマチュア無線機での長時間運用を想定したものではなく、スマホなどの充電器としての利用を想定したものです。従いまして、アマチュア無線機を使った非常通信での長時間の運用は想定しておりません。バッテリーの容量などの仕様として充分とは言えないものです。防災訓練時にPRを行うに際しては、バッテリーの充電状況、出力電圧を確認しながらの運用をお願いします。ソーラーパネルは比較的目立ちますので、これを近くにおいて通信訓練を行う事で訓練参加者の目を引き、「このようなソーラーバッテリーが比較的安価に手に入りますので、発災時のスマホ充電器として役に立ちますよ」という説明をしていただくと、区役所の意図が伝わると思います。

このバッテリーには、インバーターが内蔵されているので、AC 100V 出力があり、これを安定化電源に接続するとそのまま無線機の電源として使えます。今までの実施例では、バッテリーが充分充電されている状態でこの電源接続で訓練通信は問題なく行う事ができました。バッテリーの DC 出力をそのまま無線機に接続することもできますが、その場合は専用電源ケーブルが必要になります。YWK としては、この接続方法を推奨するものでも阻止するものでもありません。YWK メンバーの方が自主的にケーブルを作製して実験をするのは構いません。実験をされましたら、訓練報告書に結果を記載いただけると幸いです。

防災拠点でのアマチュア無線非常通信に使う電源は、従来通り発電機です。防災訓練時には、それを念頭に置いたうえで、前記の通りソーラーバッテリーを使った通信デモを行って、区民への PR をよろしく願いいたします。

以上